

令和3年度 全国山岳遭難対策協議会開催概要

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催 スポーツ庁

共 催 環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 令和3年7月16日（金）

4 会 場 文部科学省 3階講堂 及び オンライン開催

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電 話 03-5253-4111 [内線3939]

FAX 03-6734-3792

※オンライン参加のURLは、別途連絡

5 参加者 会場定員：350名程度（オンライン参加定員は上限を特に設けない）

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部(山岳部)、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織(都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等)の関係者、各都道府県山岳連盟(協会)の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

※参加希望者多数の場合は各主催団体において調整することとする

会場参加枠配分（目安）

	講師	主催者事務局	環境省	警察庁	消防庁	日山協	報道	スポ庁他
令和3年	8	20	10	60	150	45	4	55
※令和元年	6	20	10	60	150	45	4	55

6 内容

9:30 ~	受付	
10:00 ~10:10	開会式	
10:15 ~10:55 (40分)	報告Ⅰ	「令和2年における山岳遭難の概況」 警察庁生活安全局生活安全企画課地域警察指導室 課長補佐 赤嶺 旨一氏
10:55 ~11:35 (40分)	報告Ⅱ	「山岳救助支援員制度について」 静岡市消防局 山岳救助隊 消防司令 望月 将悟氏
11:35 ~12:20 (45分)	講演	「道迷いと減遭難活動」 講師：日本山岳・スポーツクライミング協会 理事 青山 千彰氏
12:20 ~13:20 (60分)	昼休憩	
13:20~17:10 (230分)		「コロナ禍から考える新しい登山様式と減遭難」 ~ワークショップ形式~ 参加者一人一人が「with コロナを意識した新たな登山、減遭難への取り組みを持ち帰り実践する。」
13:20 ~13:40 (20分)	講義	「全体導入」 ・コロナ禍が浮き彫りにしたもの(社会全体もそうだが、登山でもコロナ感染防止だけでなく、登山者の課題、山という環境の課題が浮き彫りになったのでは?) 講師：村越 真氏(静岡大学教授)
13:40 ~14:20 (40分)	講演①	「国際的に見た新型コロナウイルス感染における救助活動と登山」 ・コロナ禍での救助活動の国際ガイドライン(ICARMedcom)策定への参画から ・コロナ禍における海外の山岳救助と登山事情~New normal~に向けて 講師：大城 和恵氏(国際登山医学会 副会長、国際山岳医、北海道大野記念病院) 村越 真氏(静岡大学教授)
14:20 ~15:00 (40分)	講演②	「新型コロナウイルスの現状と課題Ⅰ ~2020~2021年の取材や対策活動を通して~」 ・登山者の傾向、登山者の課題、山小屋やテント場の様子についての事例を含めて 講師：柏 澄子氏(ライター・登山ガイド) 村越 真氏(静岡大学教授)
15:00 ~15:10 (10分)	小休憩	
15:10 ~15:50 (40分)	講演③	「新型コロナウイルスの現状と課題Ⅱ ~富山県の登

		山事例を踏まえて～」 ・ 富山県内の登山者の様子（危機管理の観点から）、コ ロナ救助事例紹介 講師：飛弾 晶夫氏（富山県警察本部地域部山岳安全課 山岳警備隊長） 村越 真氏（静岡大学教授）
15:50 ～16:00（10分）	ワーク ショッ プ問題 提起	「with コロナで浮き彫りになった（これまでもあつ た）課題は何か？」 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
16:00 ～16:05（5分）	小休憩	会場セッティング
16:05 ～16:35（30分）	ワーク ショッ プ形式	「問題への気づきの深化と共有」 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
16:35 ～16:40（5分）	ワーク	各自ワークショップ課題対応
16:40 ～17:10（30分）	デスカ ッショ ン形式	「ワークショップで出された問題を、パネラーが考察」 講師：村越 真氏（静岡大学教授）、他
17:10 ～17:25	閉会式	

※講演者・内容は変更となる可能性もあります

7 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、令和3年7月1日（木）までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所 属	申込先F A X	担 当 所 属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁 生活安全局 生活安全企画課	鈴木 悟
2	環境省関係者	03-3595-1716	環境省 自然環境局 国立公園課	塩野目 望
3	気象庁関係者	03-5408-9051	気象庁 総務部 企画課	岡本 知也
4	消防庁関係者	03-5253-7576	消防庁 国民保護・防災部参事官付	宮嶋 大
5	山岳団体関係者	03-5843-1635	公益社団法人日本山岳・スポーツクラ イミング協会	廣川 厚子
6	1～5以外	03-6734-3792	スポーツ庁 健康スポーツ課	伊藤 洋平